

子供たちの安全を見守りませんか ～学校安全ボランティアのご案内～

一緒に
やろうよ!



おもに児童の登下校時に、通学路などで見守りや、パトロールを行い、子供たちが、“毎日”・“楽しく”・“安心して”学校生活を送ることができるようご協力をいただいています。今回は各小学校の取り組みの一部をご紹介します。活動を始めようとお考えの方は、区内の各小学校にお申し出ください。

蔵前小学校の取り組み



●尾畑さんの一言

20年近く続けています。子供たちの成長を身近に感じられるのが良いところです。

東泉小学校の取り組み



●高橋さんの一言

子供たちの安心や安全に直接関わることができるのが良いところです。

●お問合せ先：区内各小学校・庶務課庶務係 ☎5246-1402

区立小学校に サーモグラフィを設置しました

新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、区立小学校19校に、発熱状態を確認できる「サーモグラフィ」を設置しました。モニターで体温を確認することができるようになり、来校者についても活用しています。



リレートーク

連載 33

中学校における 立志式の取り組み

瀬川 眞也
(台東区立浅草中学校長)



台東区の教育大綱に「温故創新とこころざし」という項目があります。そこには「台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともにこころざしを立て、新たな地域や社会を創造するひとづくりを進めます。」とあり、台東区としてこころざし教育を推進しています。これを受けて、台東区のすべての中学校で、中学校2年生の生徒を対象に「立志式」(りっししき)を実施しています。この立志式は、中学校2年生の時期の生徒が、子供から大人へと変わり行く節目と考え、将来に向けての生き方を考え、今後の自己実現に向けてその「こころざし」を立てる

機会として行っているものです。式には、来賓の方や保護者の方をお迎えし、校長が式辞を述べ、来賓の方に祝辞をいただくなど、卒業式や入学式と同じように厳粛な形で実施しています。この立志式に臨むにあたって、各学校では一人ひとりが自分のこころざしを文章にし、クラスで発表し、お互いのこころざしを聞くことでさらに自分のこころざしを見つめていきます。また、クラスの代表の生徒が立志式の壇上でこころざしを発表することで、学年全体でこころざしや自己の将来について意識を高めていきます。学校によっては、立志式にあたって、生徒一人ひとりが、自分のこころざしにふさわしい漢字や四字熟語を選んで書き表し、発表している学校もあります。生徒が選ぶ漢字は、「夢」や「心」、「挑」や「歩」など様々で、選んだ理由も含めて生徒の思いが伝わってくるものばかりです。

立志式の取り組みは、生徒に自分の将来について真剣に考える機会になるとともに、社会における自己の責任を考えさせる重要な場ともなっていることは、立志式における生徒の凜としたたずまいや、緊張感のある顔つきからうかがえます。

今後も、台東区の中学校はお互いに協力し合い、台東区の学校教育ビジョンの基本理念にある「まちを学びのキャンパスとし世界に飛躍し未来を創造する人を育成する」を実践するために、地域や保護者の方にご協力をいただきながら生徒の健全育成に努めていきたいと考えています。